都市環境委員会資料
令和８年11月４日
都市整備部道路公園課

区立公園における個人の花火利用の試行実施の結果について

１ 経緯等

区立公園における個人の花火利用については、花火や利用者の声による騒音や煙の充満、ごみの放置、火災や他の公園等利用者への危険性などを考慮し、これまで地元町会等による団体利用を除いて原則として禁止している。

一方、本区以外の２２区のうち２１区では、試行実施を含め条件付きで公園内の花火利用を認めており、本区においても花火の利用を要望する意見が寄せられている。このため、利用条件や周辺環境への影響等を検証し、本区の実態を把握することを目的として、令和８年度から区立公園における個人の花火利用の試行実施を行った。

次年度以降の区立公園における個人の花火利用の試行実施に向けて、検証材料となる利用者及び近隣住民アンケートが整理できたため、区公式ウェブサイトへ公開していく。

また、今後については、対象公園や指定エリアの選定、利用ルールの見直し、公園の巡回点検の方法等を整理し、引き続き検証等を行っていく。

２ 試行実施結果（概要）

（１）対象公園等

東山・中目黒・碑文谷・衾町公園の内、指定するエリア

（２）実施期間及び時間

東山・中目黒公園：令和８年８月５日（水）から９日（日）

碑文谷・衾町公園：　　８月１２日（水）から１６日（日）

この内、８月１２日(※一部)と１３日は雨天中止

再実施　８月２８日（金)、２９日（土）

利用時間：１７時から２０時まで

（３）対象者

子どもとその保護者の少人数（家族単位）

（４）花火利用登録（再実施含む）

利用届提出数　：　７８２件

登録利用者人数：４，１６２人

以下に各公園の内訳を示す。

８月５日（水）から９日（日）及び８月１２日（水）から１６日（日）

対象公園	利用届提出数	登録利用者人数
東山公園	１３６件	７０７人
中目黒公園	１５２件	８２２人
碑文谷公園	２１０件	１，１３３人
衾町公園	１５９件	８５７人
合計	６５７件	３，５１９人

８月２８日（金）、２９日（土）

対象公園	利用届提出数	登録利用者人数
碑文谷公園	８８件	４５２人
衾町公園	３７件	１９１人
合計	１２５件	６４３人

（５）利用状況

多くの利用者が来園し、土曜及び日曜日は指定エリアが埋まる状況も見られた。大きな事故やトラブルは発生しなかった。

一方で、区職員による利用マナーに関する注意、指導を要する場面が複数回あった。主な事例として、子どもによる花火の振り回しや指定エリア内を走り回る行為等があった。

（６）苦情、問合せ等の状況（約２１件）

一部の公園の近隣住民から、花火の煙による健康被害への懸念、ごみの放置及び利用終了時間後の公園内での騒音に関する苦情等が寄せられた。

一方で、花火は夏の風物詩で、家族の思い出作りにつながることから、一定の条件の下で利用を認めるべきとの意見も寄せられた。

３ アンケート結果

（１）利用者アンケート（約３２０件）

別紙１のとおり

（２）近隣住民アンケート（約２５件）

別紙２のとおり

４ 確認できた事項及び課題

＜確認できた事項＞

〇利用マナーに関する注意、指導を要する場面はあったものの、事前に利用ルールを周知した結果、利用者には概ね遵守されたこと。

○身近な場所で花火が実施でき、親子で良い思い出づくりや、利用者同士の交流が生まれていたことで、地域コミュニティの活性化などに一定の成果が見られたこと。
○試行実施の周知については、さらに工夫が必要であったこと。
○利用開始時間や終了時間について概ね妥当であったこと。
○試行実施期間の延長や実施公園を増やすことについて要望があること。
○想定以上に潜在的な需要が顕在化したこと。
○花火の煙が隣接する住宅地などに対し想定以上に影響が大きかったこと。
○指定エリアを選定するに当たっては、園内灯が近くにあることが必要であること。
○一部の利用者ではあるが、花火利用時や終了後に大声で話したり遊ぶなど、利用マナーにおける課題が改めて認識できたこと。
○指定エリアの設置・撤去、利用ルールやマナーの見守り、気象情報の収集など運営面の負担が大きかったこと。

＜課題＞
○利用ルールの再検討とその周知方法
○利用対象者の再検討
○試行実施期間の延長や実施公園の拡充に向けた検討
○園内灯や隣接する住宅地との離隔を踏まえた指定エリアの設定
○利用マナーや安全管理の徹底に関する検討
○現地の運営・確認、巡回体制など負担軽減策の検討

５ 今後の予定

令和８年１１月中旬　アンケート結果の公表
　　次年度以降の試行実施に向けて引き続き検証等
　９年　７月頃　　令和９年度試行実施

以　　上

区立公園における個人の花火利用の試行実施 利用者アンケートの結果について

別紙1

1. 試行実施

（1）目的
　一部の公園において試行的に期間を設定して個人による花火利用を許可することで、夏季期間における親子の思い出作りを創出するとともに、花火利用による地域交流の活性化や公園の新たな魅力向上につなげ、公園の柔軟なあり方を検討します。

（2）実施公園
　中目黒公園、東山公園、碑文谷公園、衾町公園

（3）実施期間
　中目黒公園・東山公園 → 令和8年8月5日(水)～9日(日)
　碑文谷公園・衾町公園 → 令和8年8月12日(水)～16日(日)
　　このうち、8月12日(※一部)と13日は雨天中止
　　(再実施)令和8年8月28日(金)、29日(土)

（4）利用時間
　午後5時から午後8時まで(準備・片付け等を含む)

（5）利用対象者
　子どもとその保護者の少人数
　※子どものみ、大人のみの利用は不可

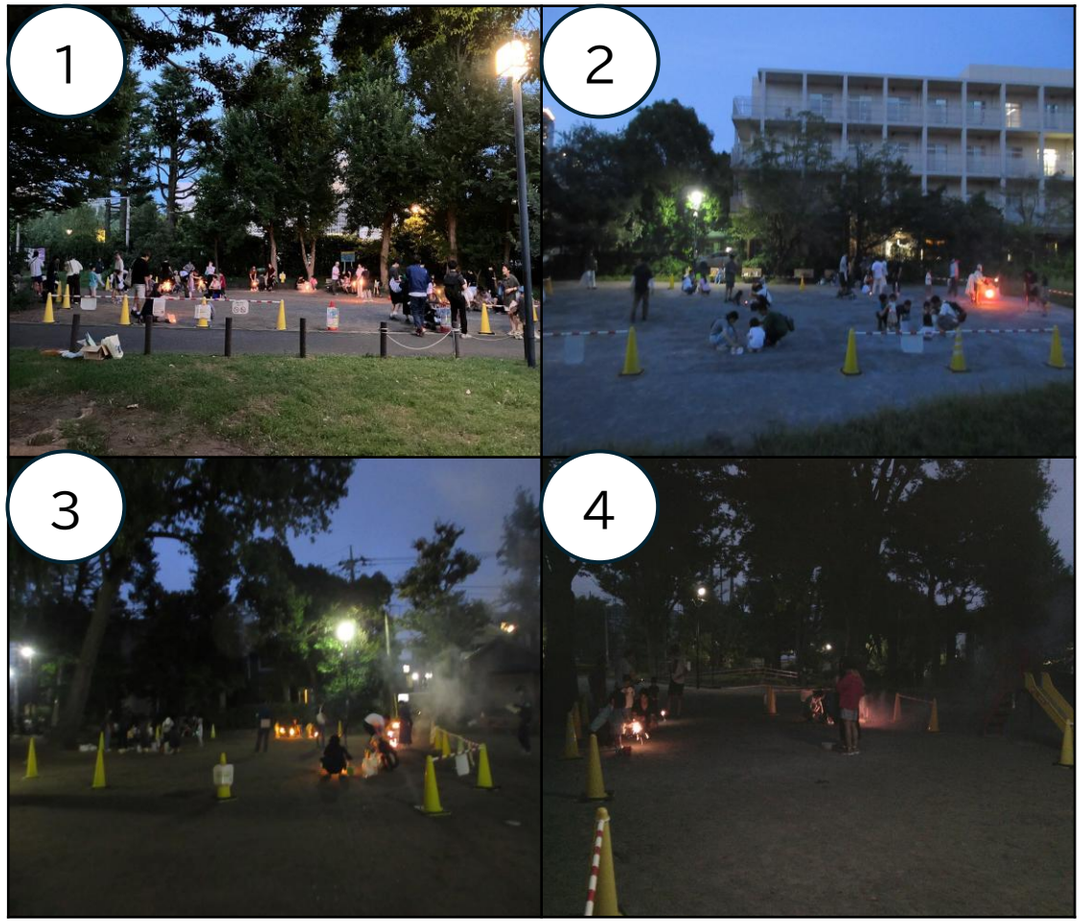
（6）利用条件
　ア 専用フォームにて利用届を提出
　イ 消火用具の持参
　ウ ゴミは全て持ち帰り
　エ 指定内エリアでの利用
　オ 手持ち花火のみ
　カ 騒音・飲酒は禁止　等

（7）周知方法
　区報、区公式ウェブサイト、現地掲示、公営掲示板　等



周知用ポスター

2. 現地写真



試行実施の様子(①:中目黒公園、②:東山公園、③:碑文谷公園、④:衾町公園)

3. 利用者アンケートの概要

（1）目的
　ご意見・ご感想等をお伺いし、今後の検証等の参考とします。

（2）アンケート募集期間
　令和8年8月5日(水)～令和8年9月6日(日)

（3）実施方法
　専用フォームによるインターネットでの回答

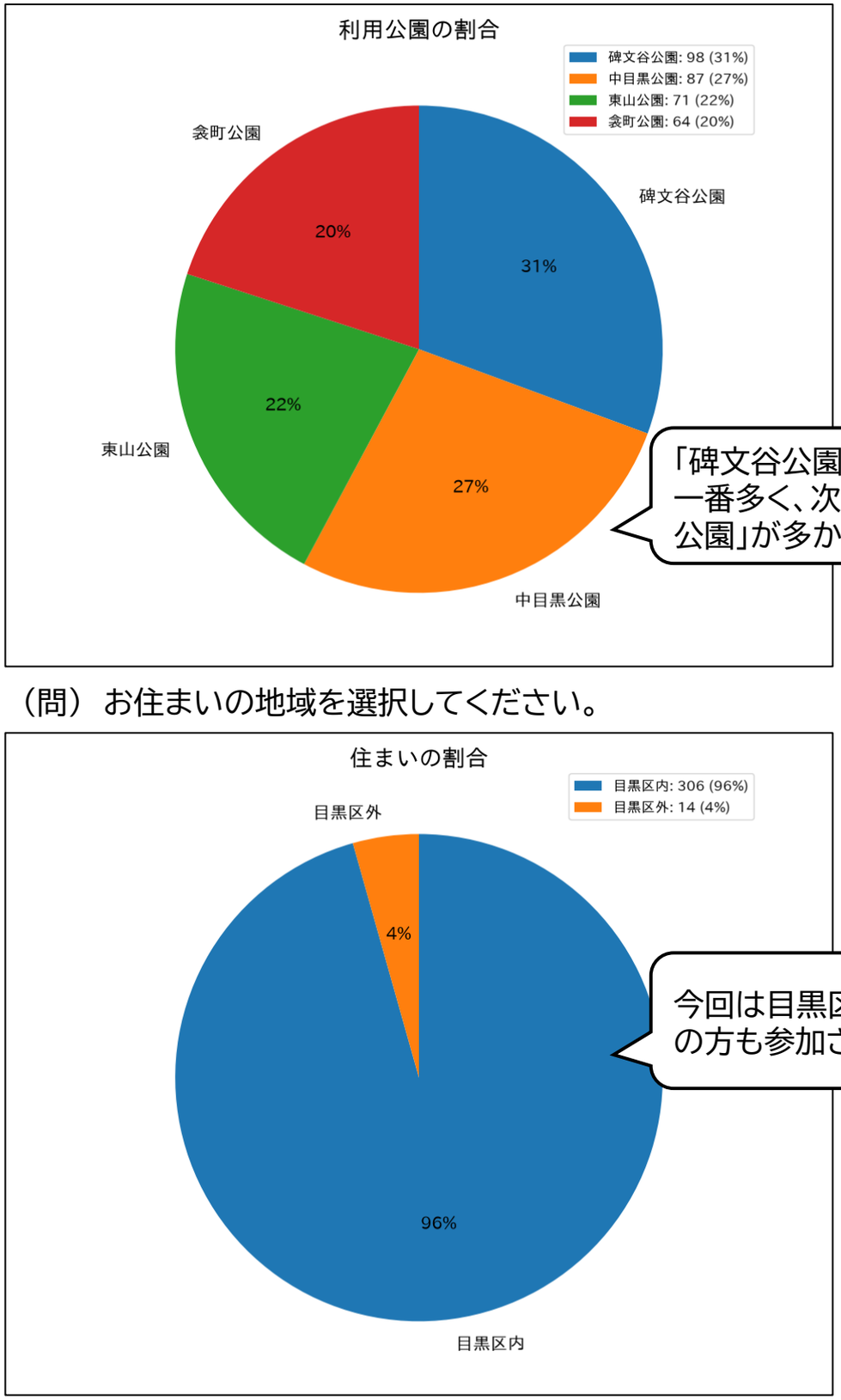
（4）周知方法
　区公式ウェブサイト、現地掲示、利用届提出者へメール通知での依頼

（5）アンケート回答数
　320件

区立公園における個人の花火利用の試行実施 利用者アンケートの結果について

4. 基本情報

（問） 利用した公園を選択してください。

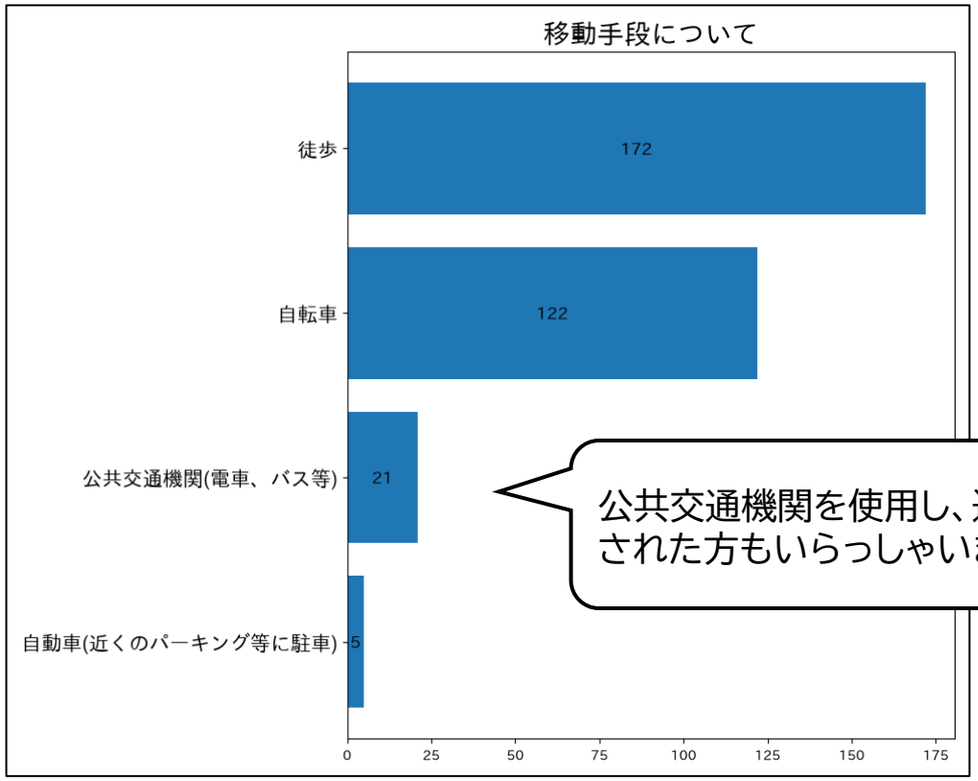


「碑文谷公園」の回答数が一番多く、次いで「中目黒公園」が多かったです。

（問） お住まいの地域を選択してください。

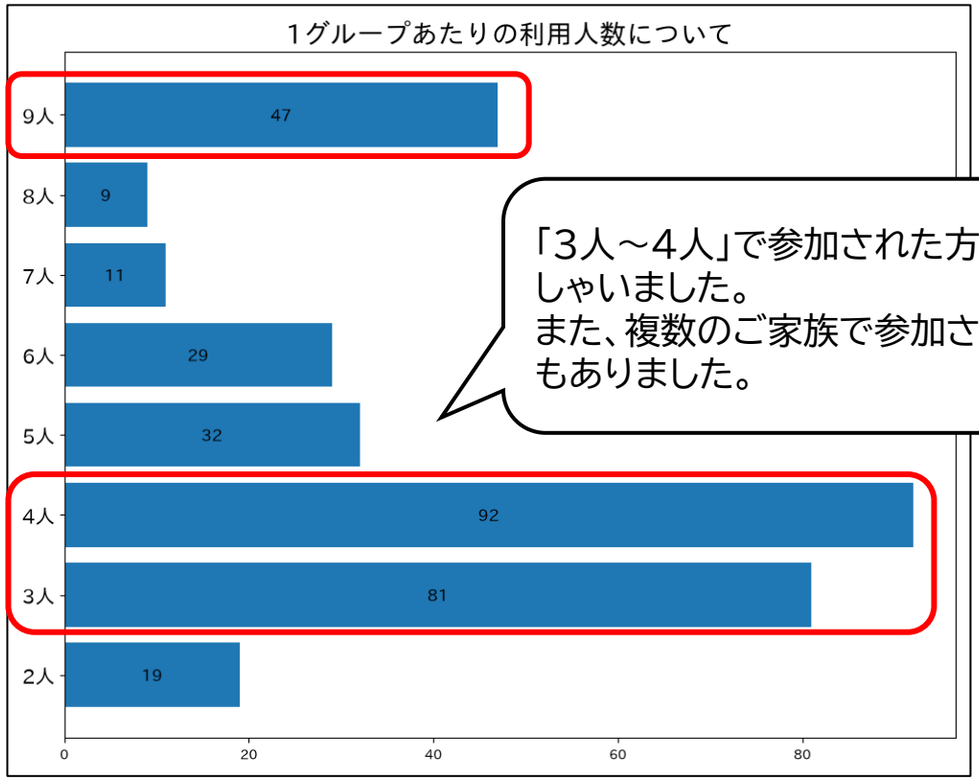
今回は目黒区外にお住まいの方も参加されました。

（問） ご自宅から公園への交通手段を選択してください。



公共交通機関を使用し、遠方から参加された方もいらっしゃいました。

（問） 利用した人数を選択してください。

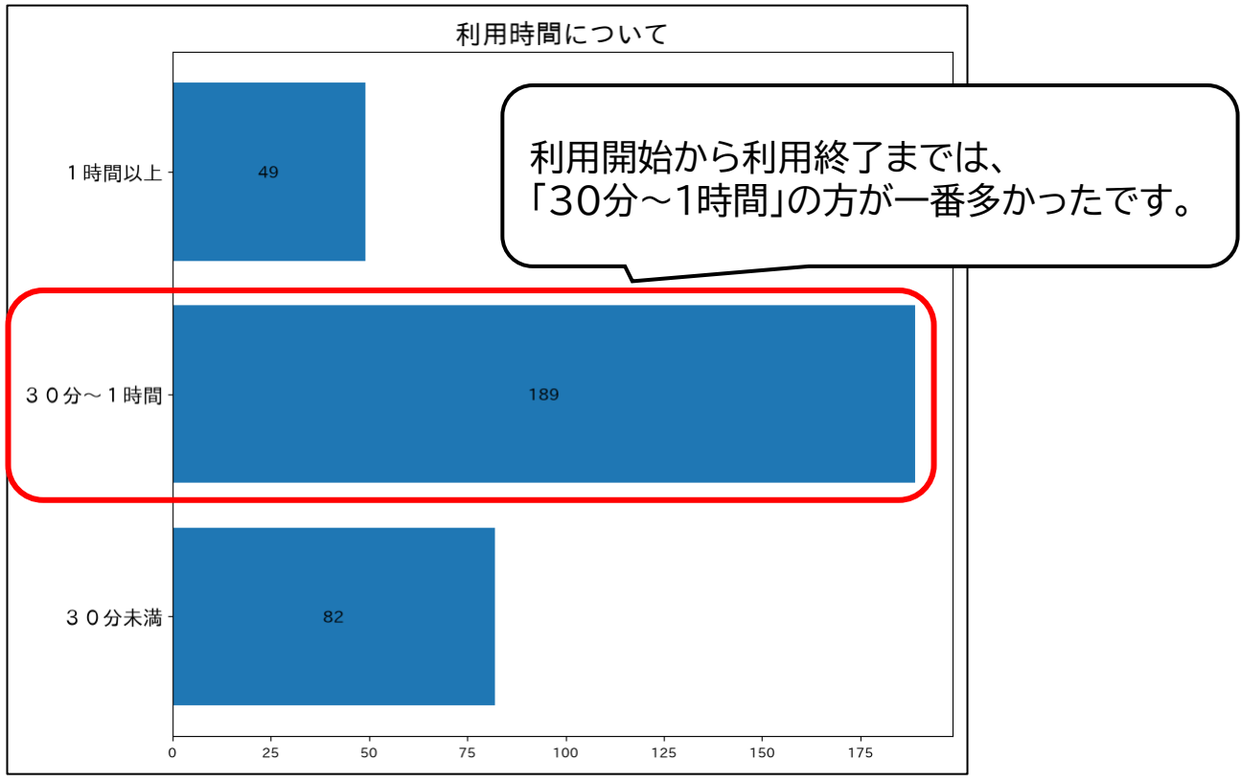


「3人～4人」で参加された方が多くいらっしゃいました。
また、複数のご家族で参加されたグループもありました。

※今回の試行実施では、利用人数を最大9人としました。

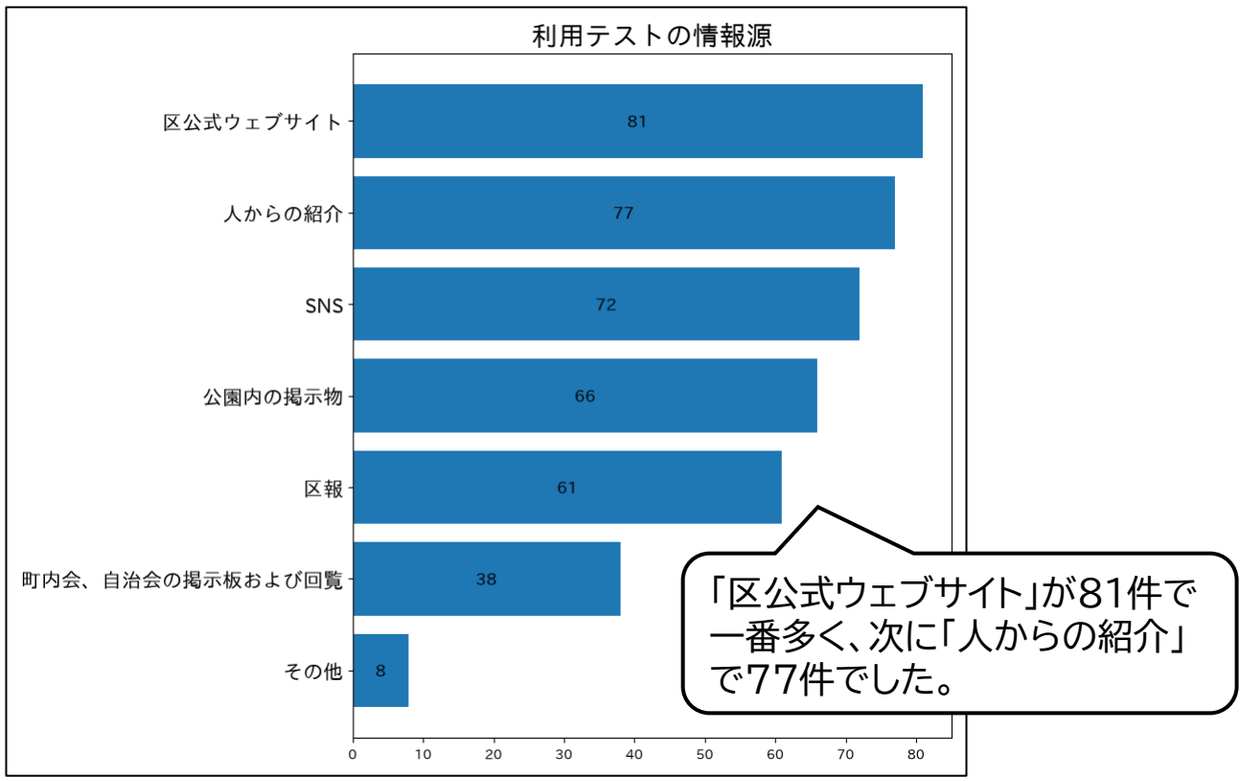
区立公園における個人の花火利用の試行実施 利用者アンケートの結果について

（問） 利用した時間を選択してください。



利用開始から利用終了までは、
「30分～1時間」の方が一番多かったです。

（問） 今回の利用テストをどのように知りましたか。※複数回答可

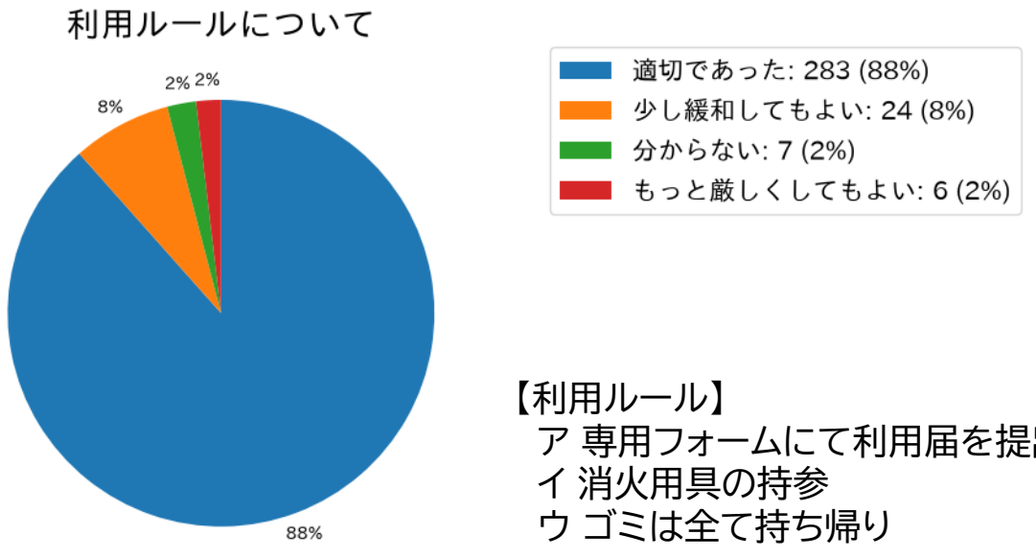


「区公式ウェブサイト」が81件で一番多く、次に「人からの紹介」で77件でした。

※区の周知方法は、区報、区公式ウェブサイト、現地掲示でした。

5. ご意見

（問） 今回の利用テストに関する利用ルールは適切でしたか。



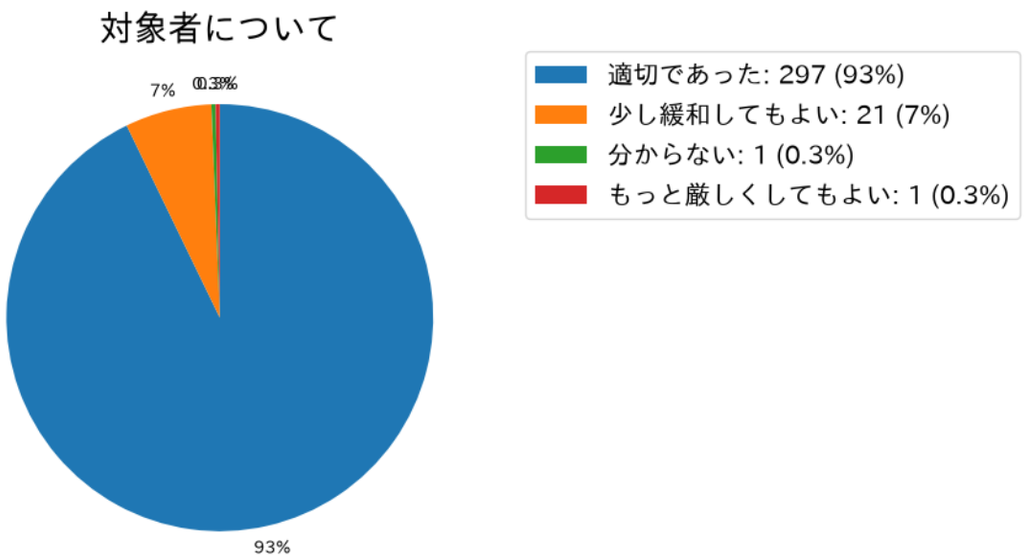
【利用ルール】
ア 専用フォームにて利用届を提出
イ 消火用具の持参
ウ ゴミは全て持ち帰り
エ 指定内エリアでの利用
オ 手持ち花火のみ
カ 騒音・飲酒は禁止　等

（1）「少し緩和してもよい」の主な意見 ※利用届、利用時間等の意見は後述
ア 花火の種類について
・手持ち花火以外にも地面に置くタイプの花火等を許可してほしい。
・地面に置くタイプの花火の中には安全に使用できる種類もある。
イ 指定エリアについて
・エリア内では利用グループによる場所取りもある。スペースに余裕があればよい。
・他グループとの距離確保のため、余裕を持ったエリア設定が必要である。

（2）「もっと厳しくしてもよい」の主な意見
ア 利用に関して
・騒音の規制をもっとした方がよい。
イ 指定エリアについて
・住宅に近すぎる。なるべく隣接住宅と距離が取れる場所を設定すべき。

区立公園における個人の花火利用の試行実施 利用者アンケートの結果について

（問） 今回の利用テストでは、対象者を「子どもとその保護者」としました。対象者について、どう感じましたか。



（1）「少し緩和してもよい」の主な意見

ア 大人のみも可能にした方がよい

・老若男女問わず、花火を風情として楽しみたい方もいると思う。

・区の施策として、幅広い世代で楽しめるよう設定してほしい。

・夏の風物詩であり、日本の文化でもある。例えば、日付・時間・場所を子どもの利用と分けて実施するなど、来年に向けて検討してほしい。

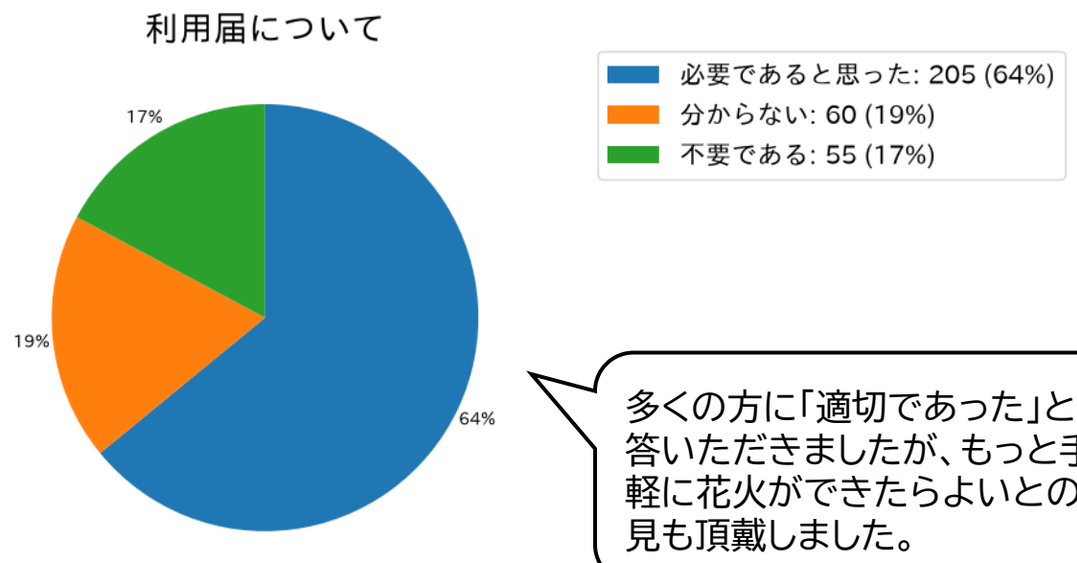
イ 子どものみも可能にした方がよい

・小学生高学年以上は保護者抜きでも、マナーを徹底すれば利用してもよいと思う。

・今回は区職員の監視の目があった。監視員が現地にいる場合、子どものみの利用を許可してもよいのでは。

（2）「もっと厳しくしてもよい」の自由意見は無し

（問） 利用届の提出について、どう感じましたか。
※利用届は責任者の選出及び利用人数の把握を目的としました。



多くの方に「適切であった」と回答いただきましたが、もっと手軽に花火ができたらよいとの意見も頂戴しました。

（1）「必要であると思った」の主な意見

混雑の緩和、責任者の明確化、事故の防止のために必要な手続きであると思う。また、事前に利用届の提出状況が分かれば、尚よかった。

（2）「不要である」の主な意見

ア 手続きが煩雑

・もっと気軽に花火を利用したい。

・子どもの体調や気分、気象条件等に合わせて気軽に利用したいが、事前の予約（申請）があると、柔軟に動くことができない。

・近隣自治体のように申請不要でもよいのでは。今回の対象公園は申請が不要な自治体の公園と同程度の大きさであると感じた。

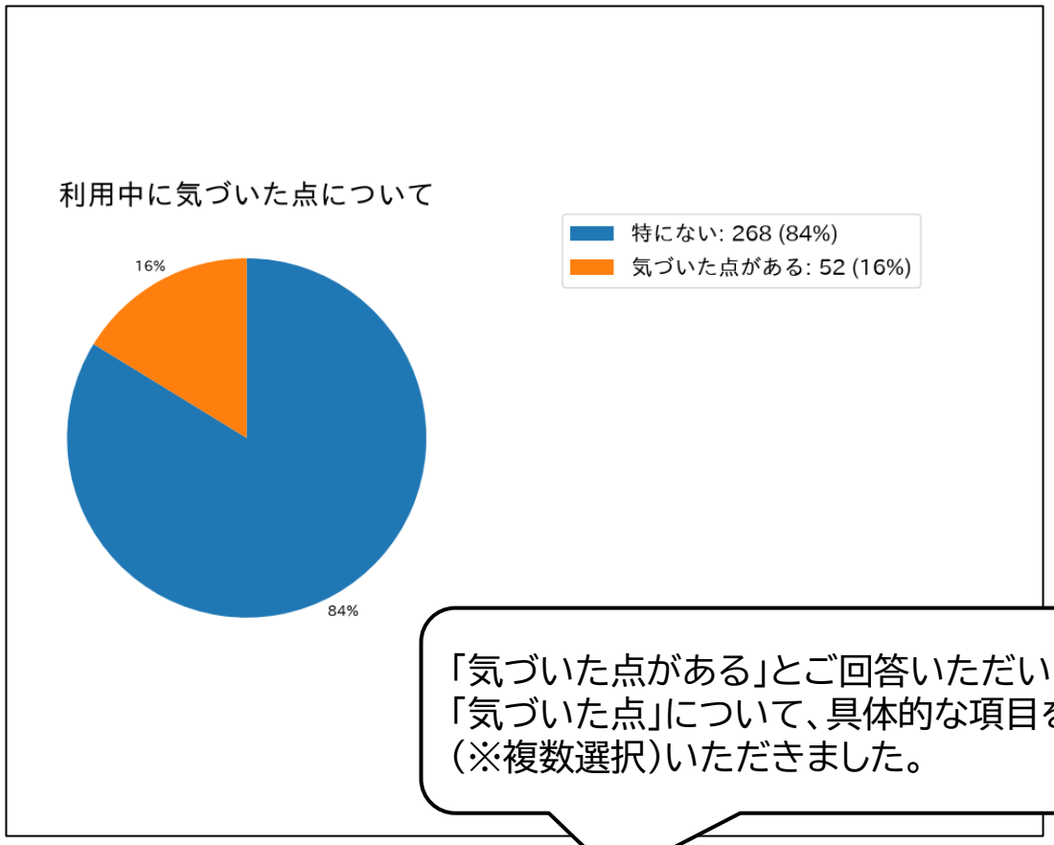
イ 利用届の実効性が不明

・当日に本人確認等が無かったため、届出の意味が無いように感じた。

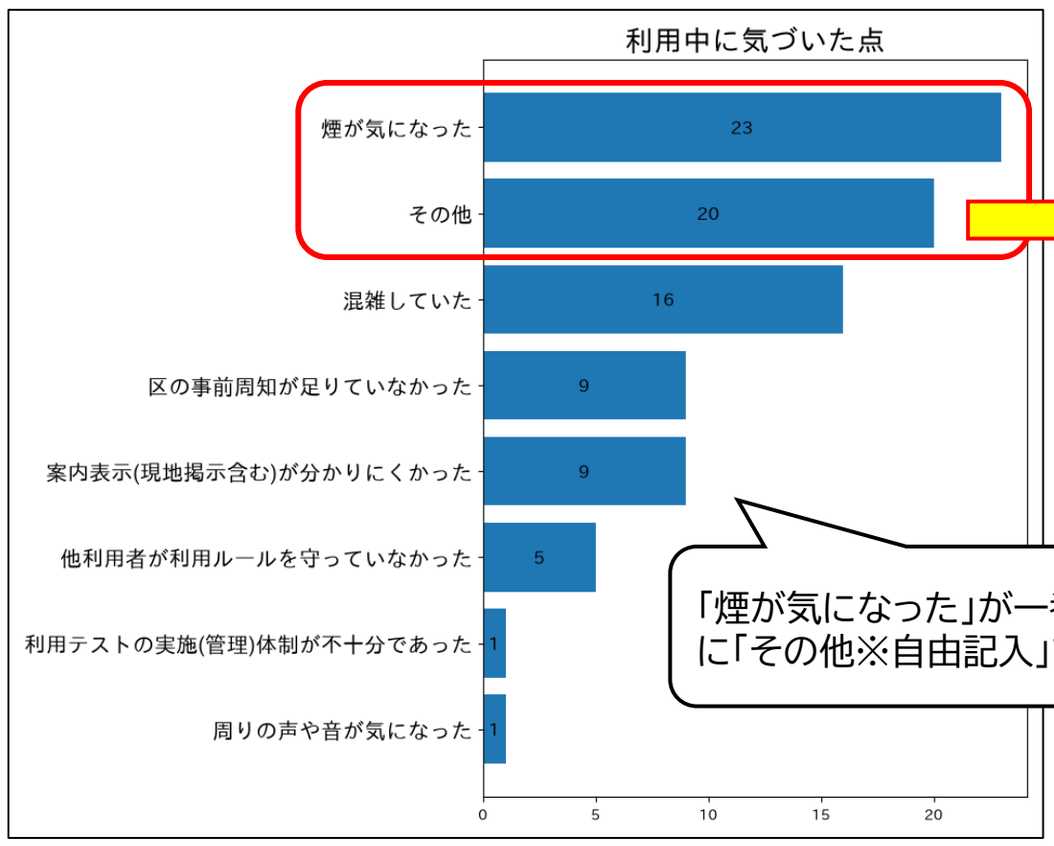
・確認が無いと、未申請者も利用できてしまう可能性があると感じた。

区立公園における個人の花火利用の試行実施 利用者アンケートの結果について

（問） 花火利用中にお気づきになった点はありましたでしょうか。

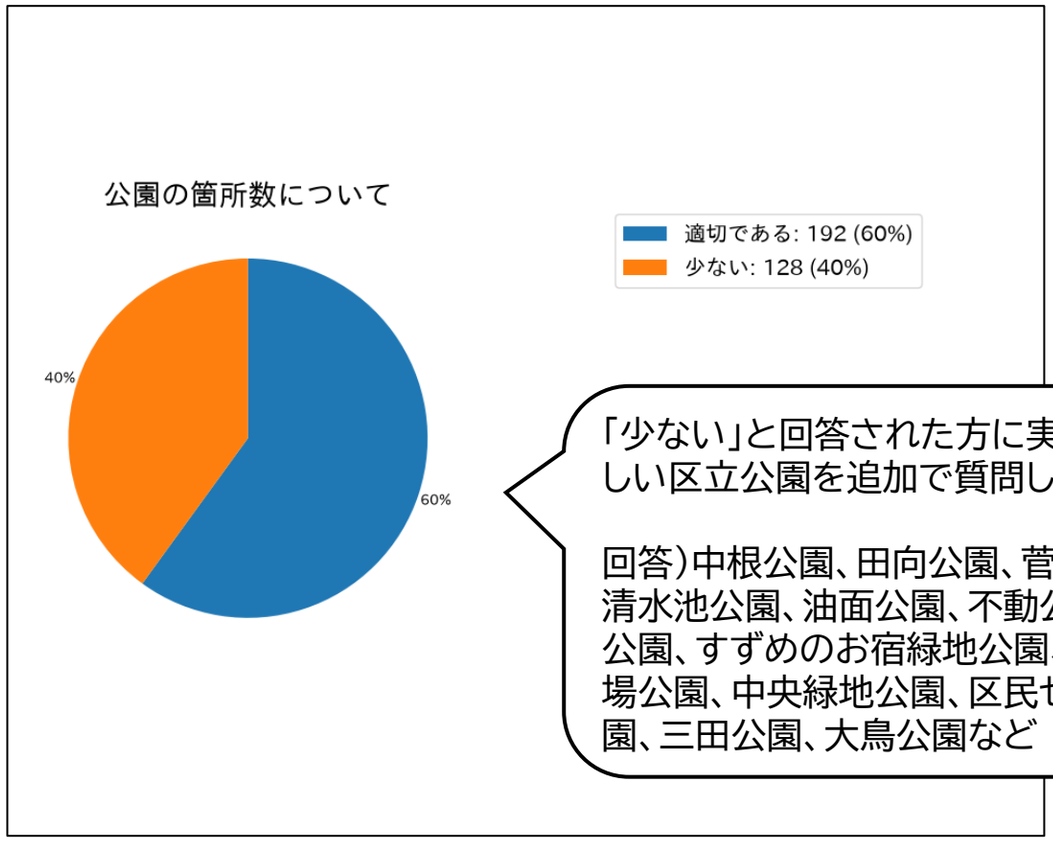


「気づいた点がある」とご回答いただいた方に「気づいた点」について、具体的な項目を選択（※複数選択）いただきました。



「煙が気になった」が一番多く、次に「その他※自由記入」でした。

（問） 公園の箇所数について、どう感じましたか。



「少ない」と回答された方に実施してほしい区立公園を追加で質問しました。

回答）中根公園、田向公園、菅刈公園、清水池公園、油面公園、不動公園、東根公園、すずめのお宿緑地公園、田道広場公園、中央緑地公園、区民センター公園、三田公園、大鳥公園など

（1）利用中に気づいた点の「その他」に関する意見

ア 安全対策の強化

・子どもが動き回ることに危険性を感じた。予め、動き回る状況を踏まえたエリア設定やグループごとの区分けが必要であると感じた。

・利用エリア周辺がうす暗く、照明の充実が必要であると思った。

イ 利用ルールや周知方法、管理体制の明確化

・利用届の提出時に利用開始時間は回答したが、利用時間の制限があるのか分からず、利用を早めに切り上げた。

・利用テストについての周知が甘く、対象時間外にも勘違いして利用する方が出てくると感じた。

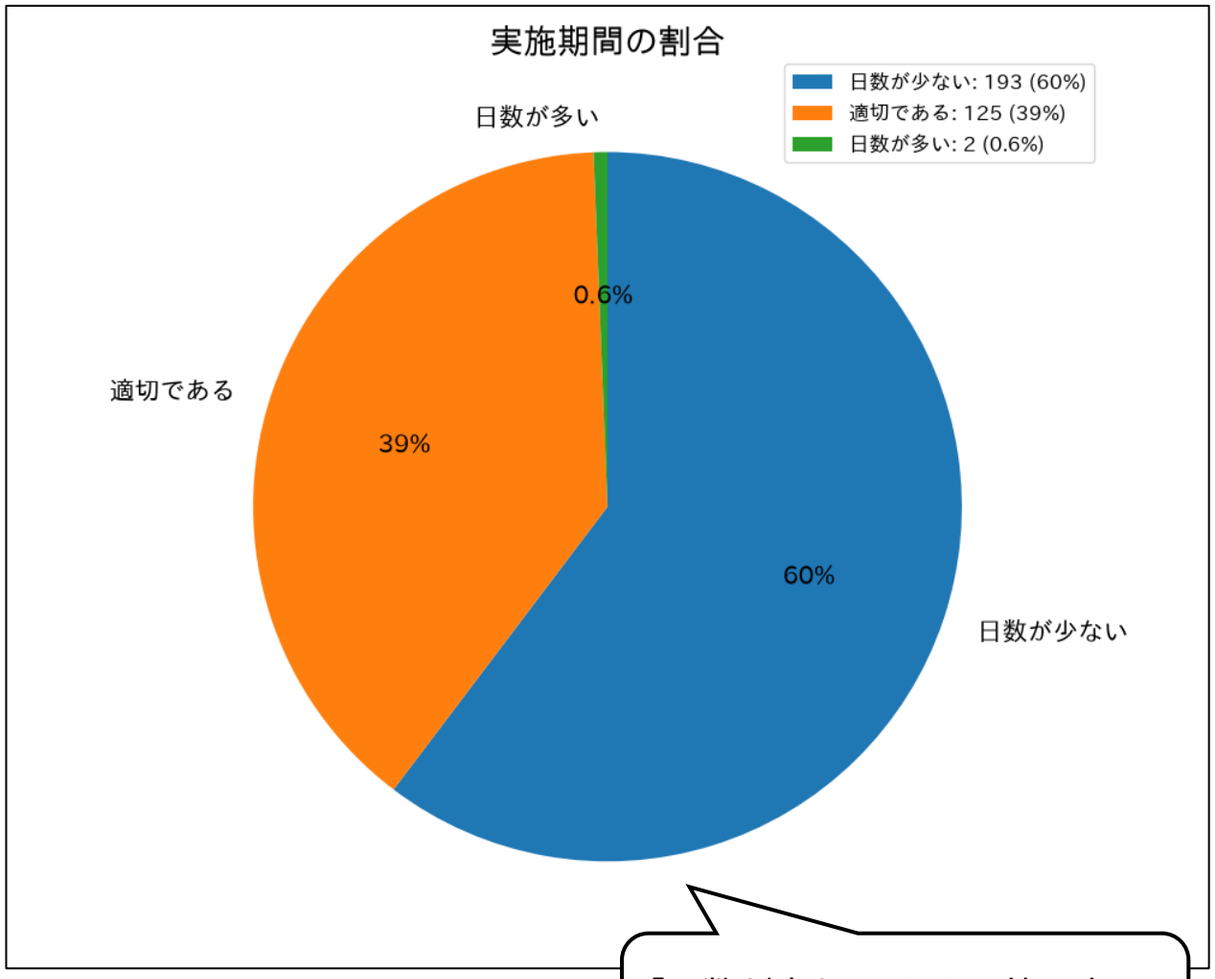
・利用ルールについては、公園環境の維持のため、もう少し細かい条件設定をしてもよいと感じた。
例えば、地面に直接ロウソクを設置してはいけない。など

ウ 周辺住宅への配慮

・近隣へどういった説明をされているか気になった。説明状況が分かれば、それを踏まえての適切な配慮が可能であると思う。

区立公園における個人の花火利用の試行実施 利用者アンケートの結果について

（問） 今回は各公園5日間で利用テストを実施しました。実施期間について、どう感じましたか。

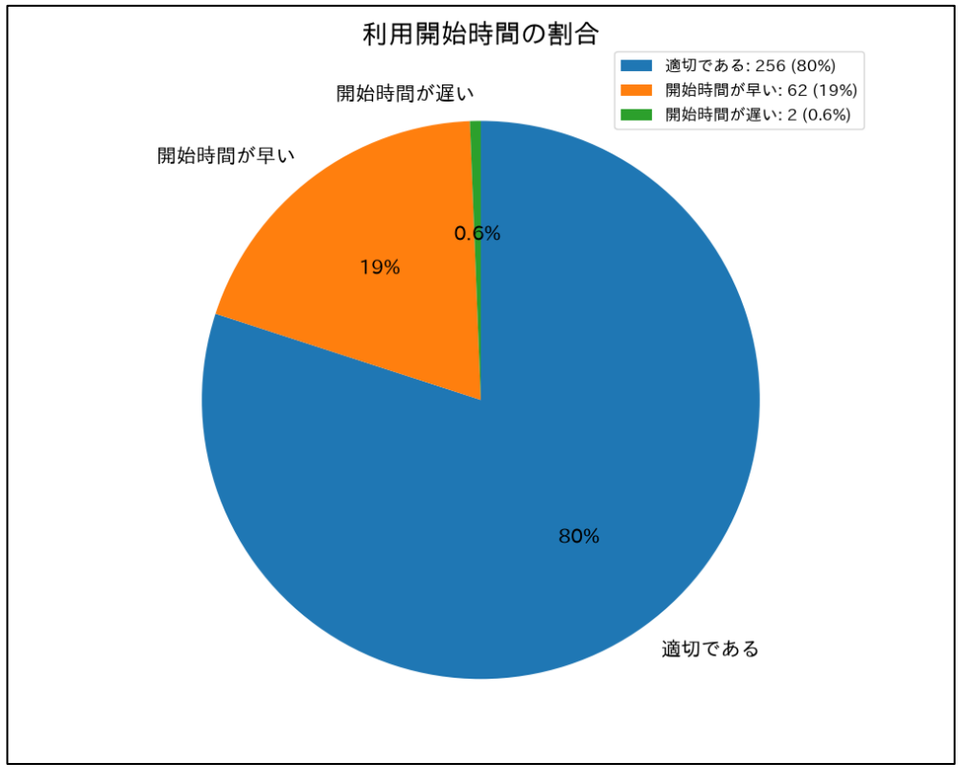


「日数が少ない」との回答を多くいただきました。

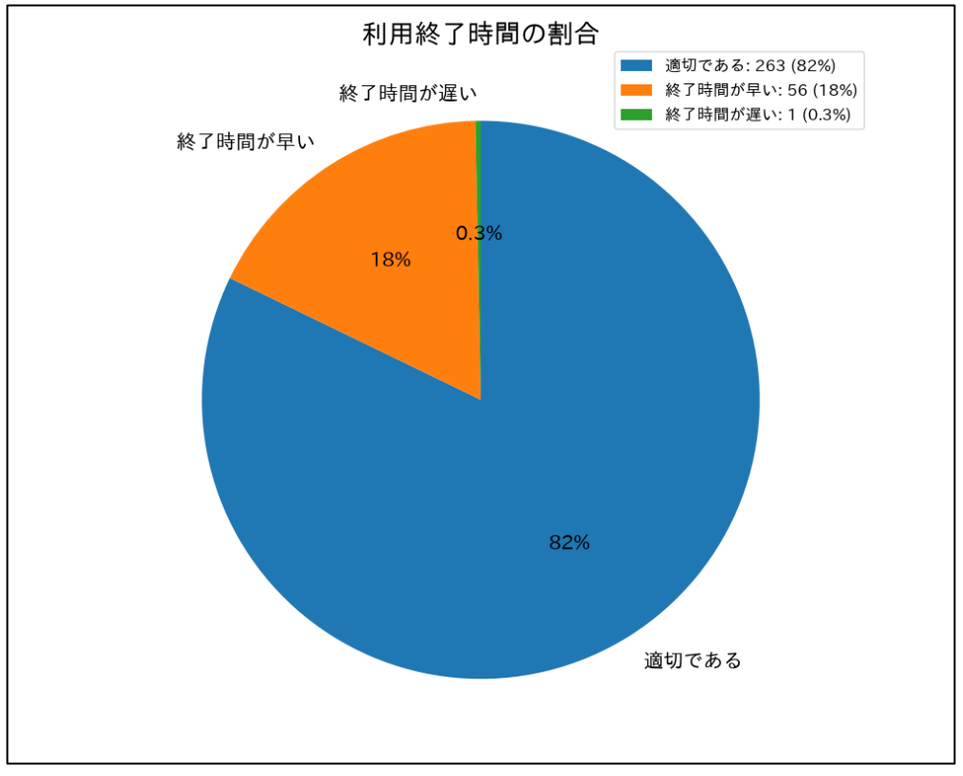
（1） 実施期間の設定について
　試行実施の目的である夏の期間における親子での思い出作りをもとに、主にお盆期間において期間を設定し、実施しました。日数については、区職員による管理体制を踏まえた期間としました。また、平日と休日を含めることで、より多くの利用者に参加いただけるよう設定しました。

（2） 利用時間の設定について
　利用時間は周辺環境や区職員による管理体制を踏まえ、設定しました。

（問） 今回は利用時間を午後5時から午後8時までとしました。利用開始時間について、どう感じましたか。

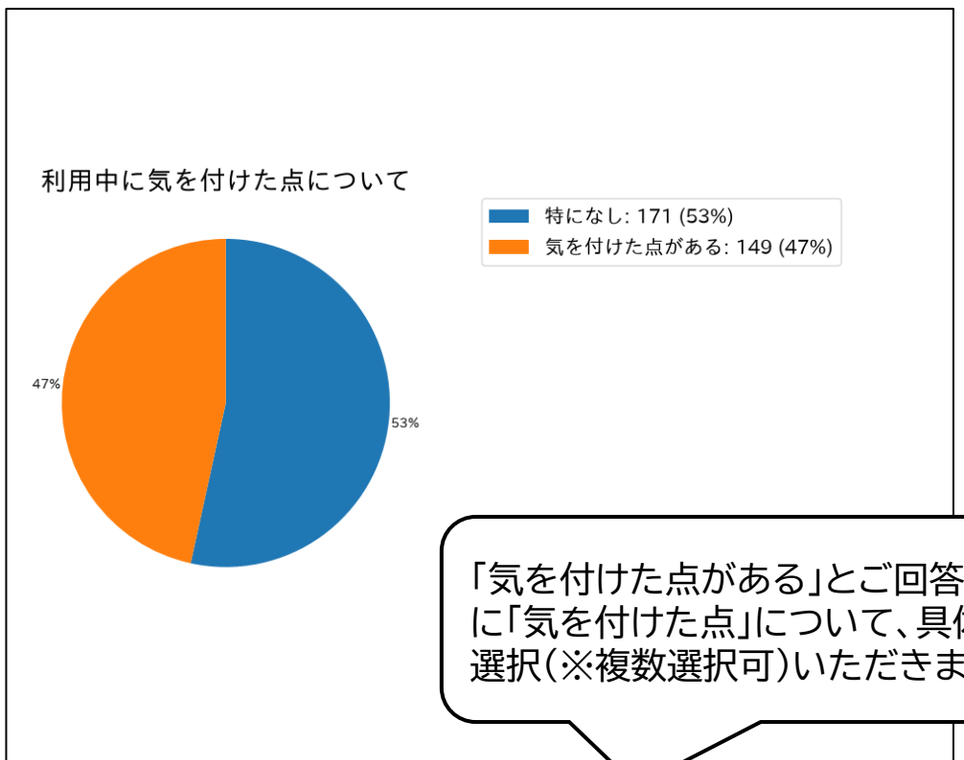


（問） 利用終了時間について、どう感じましたか。

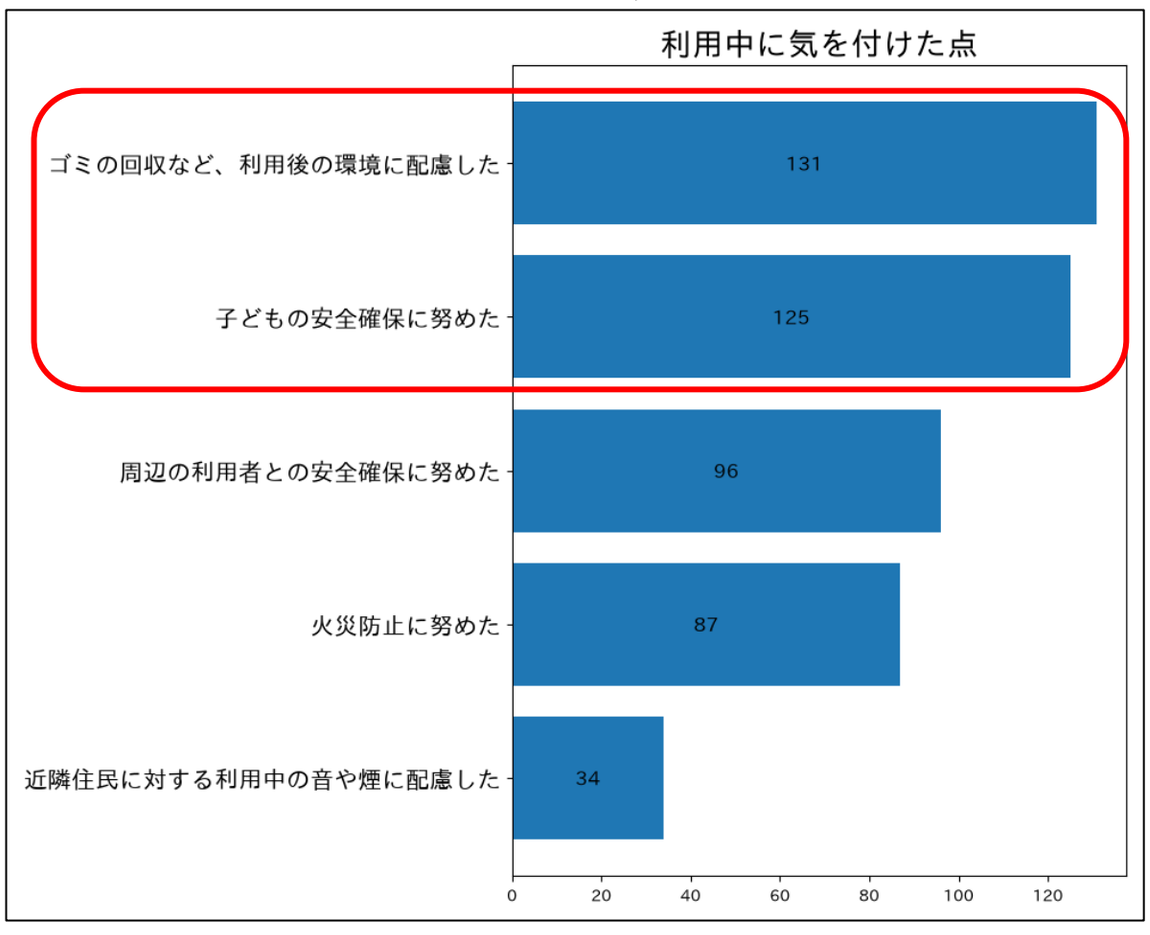


区立公園における個人の花火利用の試行実施 利用者アンケートの結果について

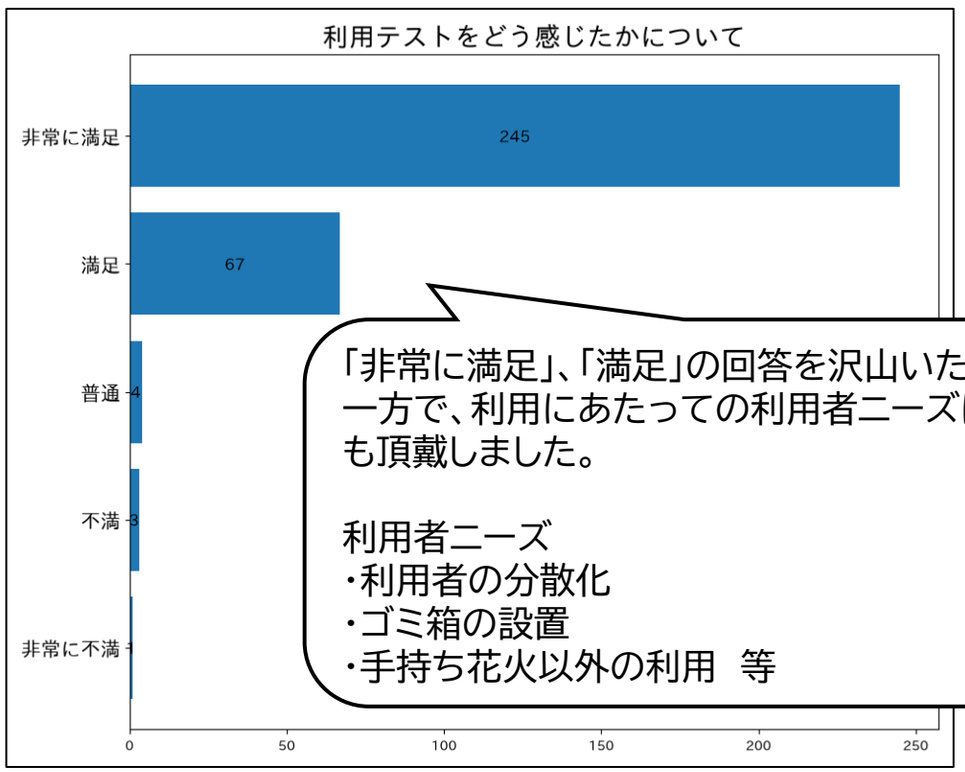
（問） 花火の利用に際して、気を付けた点があれば教えてください。



「気を付けた点がある」とご回答いただいた方に「気を付けた点」について、具体的な項目を選択（※複数選択可）いただきました。

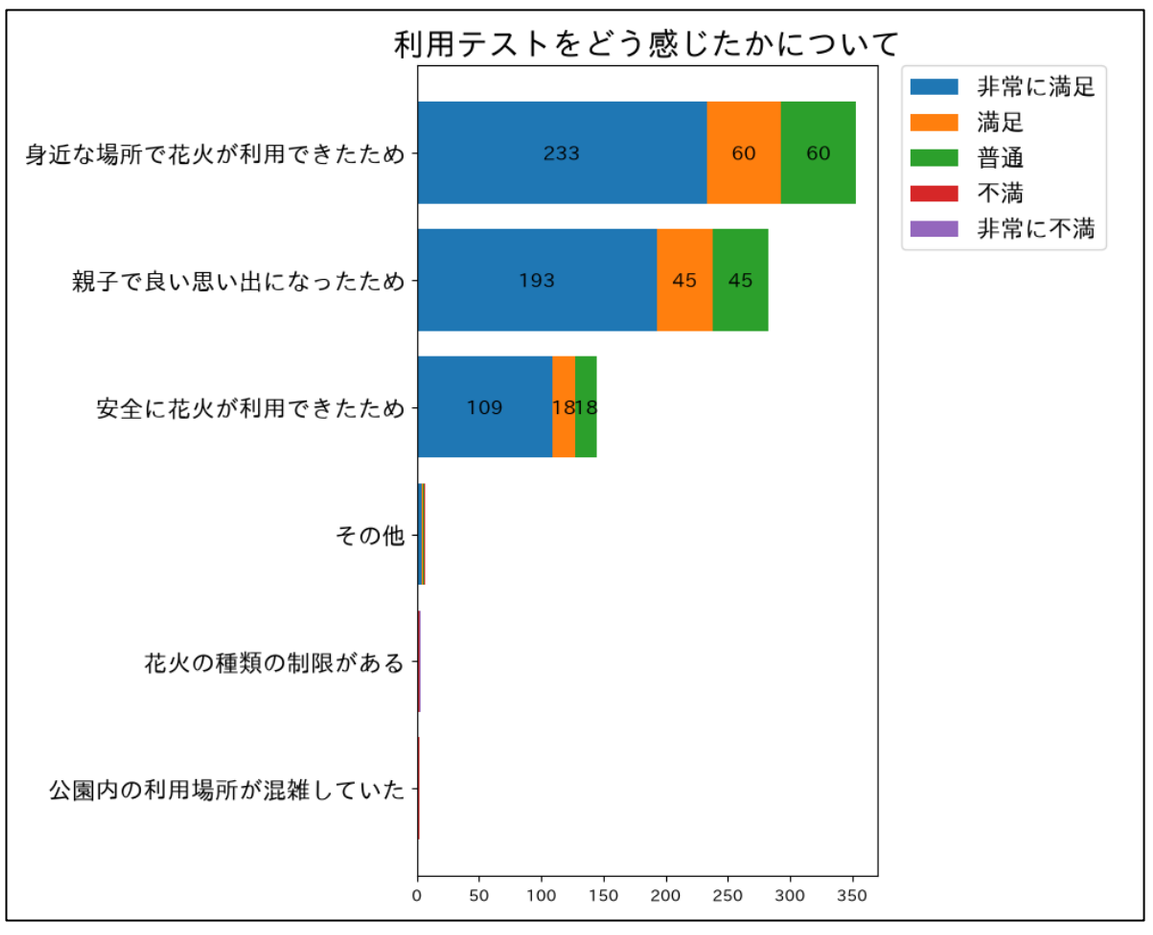


（問） 今回、区立公園で手持ち花火を利用できたことについて、どう感じましたか。



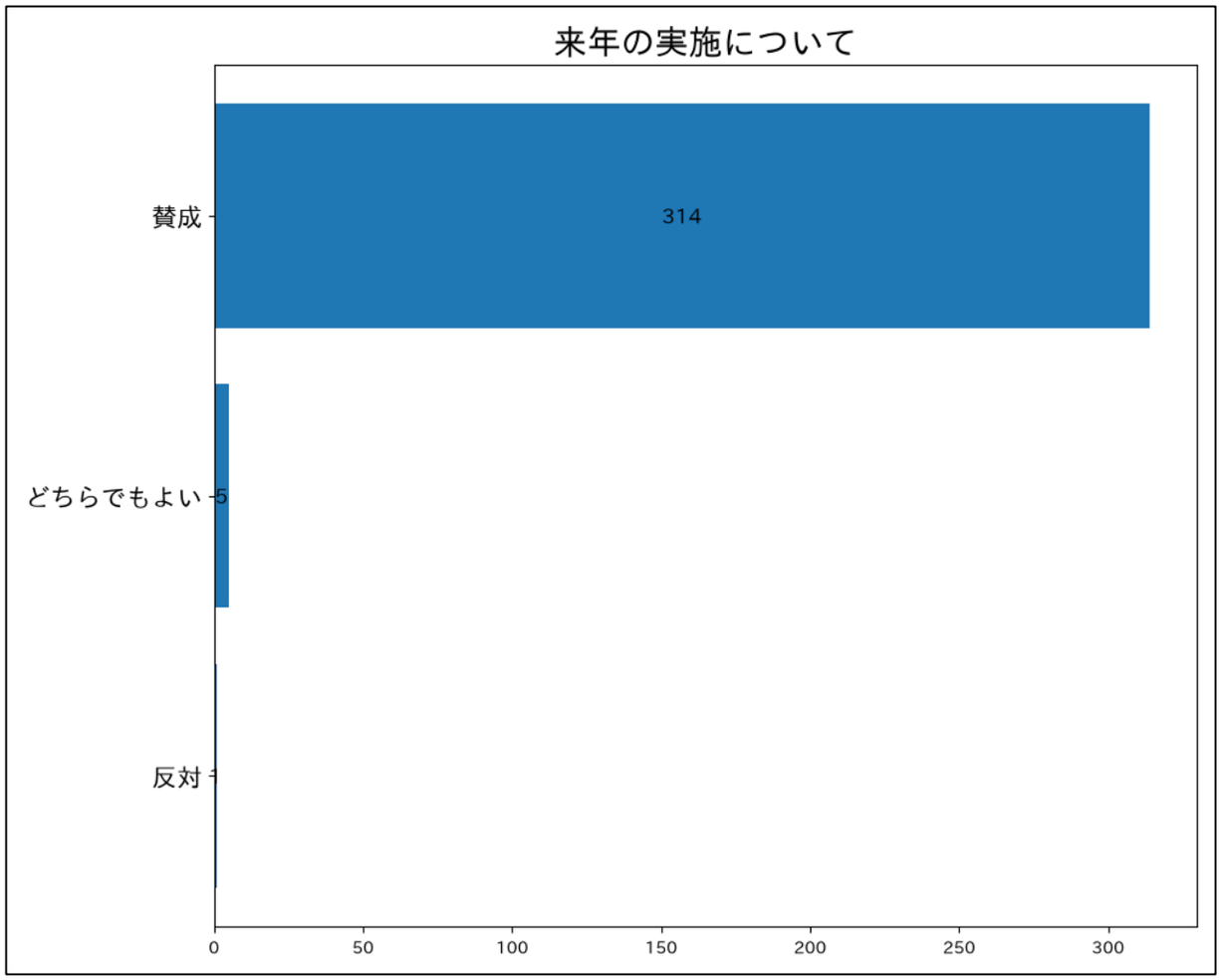
「非常に満足」、「満足」の回答を沢山いただきました。
一方で、利用にあたっての利用者ニーズに関する意見も頂戴しました。

利用者ニーズ
・利用者の分散化
・ゴミ箱の設置
・手持ち花火以外の利用　等



区立公園における個人の花火利用の試行実施 利用者アンケートの結果について

（問） 来年以降の区立公園での花火利用の実施について、どう思いますか。



（問） どのような条件があればより利用しやすいと思いますか。（自由記述）

（1）主な意見

ア 実施期間、時間・対象公園の拡大

・お盆期間や休日は利用希望が集中するため、日程を拡大することで利用者分散を図った方がよい。

・水栓があり、花火エリアを確保できる広めの公園を追加で対象とし、公園数を増やすことで混雑緩和につなげてほしい。

・今回は30分単位で利用開始時間を選択したが、準備から片付けを含めると30分～1時間は必要であると思う。1時間単位で利用開始時間を選べる方が利用しやすい。

イ 利用届に関して

【緩和・撤廃の意見】

・日時や人数の変更を容易にしてほしい。今回は、一度申請を取消して、再度（変更）申請する必要があった。

・近隣自治体と同様に自由利用でもよいのでは。利用マナーの観点でも、近隣自治体と住民性は変わらないと思う。

【継続の意見】

・混雑防止や安全確保のため、申込制が望ましい。

・やはり利用者へは一定程度の火気取り扱い責任を持たせるべき。

・申込制のおかげで、人数管理ができるため、安心して利用できた。

ウ 混雑状況の可視化

・時間帯ごとの利用人数をアプリや専用ウェブで確認できるようにしてほしい。その媒体を通じて、利用情報や中止情報も配信ができるのでは。

エ 安全管理における体制の維持

・地元町会と連携できれば、より管理体制が強化できると思う。

・火気を取り扱うので監視員の常駐は必須であると感じた。

オ 煙対策

・煙の少ない花火を推奨するべきである。

・同時刻に利用者が集中すると煙が多くなる。分散化が必要である。

カ ゴミ処理や花火利用環境の充実

・利用ルールにもあるが、再度ゴミの持ち帰りは徹底するべき。

・花火ゴミの回収用ゴミ箱を設置してもよいと思う。

・利用エリアは照明設備が充実している箇所を選定するべき。

区立公園における個人の花火利用の試行実施 近隣住民アンケートの結果について

別紙2

近隣住民アンケートの概要

（1）目的
ご意見・ご感想等をお伺いし、今後の検証等の参考とします。

（2）アンケート募集期間
令和8年8月5日（水）～令和8年9月6日（日）

（3）実施方法
専用フォームによるインターネットでの回答

（4）周知方法
区公式ウェブサイト、現地掲示での依頼

主なご意見

・子ども達の花火の機会が少なくなっている今素晴らしい取り組みだと思う。

・家族で夏の間、花火を利用できる公園が近所にあると夏休みの思い出になり大変助かります。来年も引き続きお願いいたします。

・参加した子供たちも喜んでいたように見受けられました。私は近隣に住んでいますがまったく気になりません。多くの区でも実施されていることであり、拡大継続を望みます。

・これまでも花火が禁止なことの方が不思議でした。

・花火も夏休みの間は時間を決めて毎日でもよいと思っております。

・花火に伴う問題はどうしても起こりやすいため、全く問題なく行うのは難しいだろうが、一部のマナーを守らない人のためにマナーを守れる他の人が制限される状況は残念。

・定期的にやればいいと思います。

・周知が足りていない。LINEで情報発信を行ってほしかった。

利用条件に関して

・大人数の集まりは制限して4-5人以下にしてほしい。

・許可制ではなく、全面的に利用できるようにしてほしい。

・大人だけでも参加させて頂けるとありがたいです。

煙に関して

・煙の量が多く、火事によるものかどうか見分けがつかない状況で、においも気になる。

・花火の種類にかかわらず、火災につながる可能性があることから、花火の利用には反対である。

・花火の煙による健康への影響を懸念しています。特に喘息症状の悪化が心配されることから花火の利用は控えて頂きたい。

ゴミに関して

・花火のゴミが公園内に残されていましたが、利用者が後片付けを徹底できれば、よい制度だと思います。

・実施場所をコーンで区画していた点はいい取り組みだと感じました。一方で当日はベンチ周辺の草むらに空き缶などのゴミが残されていたほか、放置自転車の周辺にも多数の空き缶が見受けられ、通常よりもゴミの量が多い印象を受けました。

・ゴミ箱を設置しない状態で夜間の花火利用を認める場合、ゴミの不適切な廃棄が増えることが懸念される。

利用マナーに関して

・花火の時間終了後に、公園内で飲酒を伴う集会や子どもが鬼ごっこ等を遅くまでしている声が迷惑。

・花火を振り回して走り回る子供が居た。